

第76号



すいせん

令和元年8月18日に東京都勝山学園で第30回納涼大会が行われました。ご来賓の方をはじめ、多くの方々にご来園頂き本当に嬉しく思います。また、ボランティアでご協力いただいた皆様には感謝を申し上げます。

今年のテーマは「わ」でした。令和、輪、調和、そして地域との輪。「わ」にこじつけたわけではありませんが、「輪投げ」「ドーナツ」「スタンプラリー」、ゲームコーナーの景品は光る腕輪や指輪、アトラクションには和太鼓など様々などところに「わ」を取り入れていたことにお気づきでしたでしょうか。

この納涼大会は勝山学園にとつて、とても大きな行事です。それを運営し、やり遂げたことは大きな達成感につながりました。それを味わえたのは、職場の仲間、地域の皆様と「わ」となれたことが大きいと感じています。

鋸南町で生活する皆様と勝山学園が、今後も長きにわたって自他共栄できたらと心から願っております。

(実行委員長 伊藤 裕樹)



KATSUYAMA



私達ダンスサークルは、4月から中横でリーダーM・KとH・N、T・A、私、そして、墓谷職員で作りました。

私たちがダンスサークルを作り上げた理由は、ダンスが好きで、一度はどこか舞台の上で楽しく踊ってみていなあと思ってたからです！

4月から納涼大会に向けて、みんなで都合を合わせて集まって、踊る曲も自分達で決め、動画を見ながら振り付けも覚えてきました。わからない人がいた時は、誰かが絶対に教え合いながらアドバイスをしてくれました。私達は、暑い中一生懸命、納涼大会に向けてダンスを練習して来ました。そして誰一人、諦めることなく納涼大会当日の本番を迎えることができました。皆、本番では超緊張していましたが踊っている時に皆の「笑顔」が見られたので良かったです！とても楽しい時間でした。

(中2 T・R)



感想はこちらまで！

ホームページ <http://www.katsugaku.org>

メールアドレス

katsuyama@katsugaku.org

軽音合宿

当園のクラブ活動の1つに軽音楽クラブがあります。今年度9月で発足からちょうど3年が経ちました。これまで段階を踏みながら、様々な機会を活用して練習の成果を披露してきました。

昨年度も行った納涼大会前の夏合宿ですが、今年度はバンドスタジオでの合宿ができることに。到着するなり、子どもたちの機材に見とれる表情や喜びの声が多く見受けられました。

課題曲は4曲。スタジオ使用時間4時間。「もう聞きたくない」と口にするほど練習ができたと思います。

そして迎えた当日。1名のメンバーが体調不良で出演できなかったことは大変残念でしたが、子どもたちは堂々と自分たちの演奏を披露していました。様々な事柄に通ずることもかもしれません、事前準備は大変時間や労力が掛かりますが、本番は一瞬。その一瞬の喜びや達成感をこれからも忘れないでいてほしいと感じています。



(与田 翼)



今回の合宿は学園ではなく、木更津のスタジオで行いました。それぞれ2組のバンドが2曲ずつしかやらなかったため、4時間ぐらいいちり練習することができました。スタジオで使わせて頂いた機器が普段使っているものより良くてすごくいい音が出ていました。そして、木更津まで行ったということなので、モチベーションが上がり、合宿練習が全然苦ではありませんでした。出来ないところを少しずつ頑張ったり、バンド練習をたくさんやったり、長い時間があったという間に感じました。選曲が去年より難しい曲でしたが、合宿により一通りは出来るようになりました。

本番では、それなりに良い曲にできたので練習の成果を出せました。受験で1度抜けてしまいましたが、これからももっと難しい曲にチャレンジしていきたいです。

(中3 O・K)

私は、今年初めて祭礼のたいこをたたく練習に行きました。なぜ、行ったのかと言うと、いろんな事にチャレンジして、それでたくさんを知りたいと思ったからです。

最初、私は「ばか」というたき方しか知りませんでした。だけど、他にも「さんぎり」「はやばか」のたたき方を覚えまし

た。この3つのたたき方の中でも好きなのは、「ぎり」です。なぜかという、まちがえても一番早くリズムを取り戻すことが出来るからです。

そして、私は本番のたいこの屋台に朝からついて行きました。失敗をたくさんしたけど、入るタイミングで入れました。また、来年もやりたいです。

(小5 K・A)

祭礼



今年度も、7月13日に勝山地区祭礼が行われました。私自身、祭礼には毎年山車を引つ張る事などで参加していましたが、今年度は両向青年会の一員として参加させて頂きました。途中雨も降り始めましたが、夕方には雨も上がり多くの子ども達、地域の方々も参加することが出来ました。

子ども達の太鼓練習を見させて頂く機会がありました。一生懸命練習している風景を実際に見て、祭礼当日がとても楽しみました。当日は手に豆が出来るほど練習した子ども達が太鼓を叩いている様子を見て感動したのを覚えています。

両向青年会の一員として参加させて頂き、不慣れな所やご迷惑ばかりかけてしまいました。皆様をサポートもあり無事に怪我人なども出ること無く終えることが出来ました。改めて祭礼に参加し、勝山の良い部分を感じることが出来、とても貴重な時間でした。

(野崎 洋輔)

夏キャンプ

今年も幼児横割の夏キャンプへ行ってきました。今年は2歳、3歳、6歳の子どもたち。

1日目はマザー牧場へ。初めて見る動物に少し怖がりながらも、目をキラキラさせて触ってみる子どもたち。暑い中、頑張って歩く姿には成長を感じました。夜には花火をして楽しみました。

2日目は学園内にて寄贈でいただいた大きなプールで水遊び。水鉄砲や浮き輪でたくさん遊んで、お昼には流しそうめんを食べて…と夏を満喫しました。

今年の3名は、学園で初めてのキャンプ体験でした。暑い中での活動でしたが、体調を崩すことなく、元気に遊びたくさんの夏の思い出を作ることができました。

(倉見 明日香)



Q: キャンプはどこに行ったのかな?

M: きみかめしぜんのいえにいきました!

Q: どんなことをしましたか?

M: はなびした。火の神様がてんじんさんだった!

M: まんげきょうつくりとアイスつくりした。

M: やまのぼりして、しらないうちにヒルにかまれた!

Q: 楽しかったことは?

M: はなび! きれいだった!

Q: 来年のキャンプでしたい事は?

M: また、はなびがやりたいです!

Q: 最後に感想を!

M: はなびたのしかった!

M: いっぱいあるいてつかれた!

M: アイスおいしかった!

(小1・M)

今年の中横夏キャンプは、1日目に鋸山に登り、その後保田小学校でグループごとに別れ、夕食作りをしました。鋸山は思っていたよりハードでも疲れましたが良い思い出になりました。また、夕食のカレー作りではどの学年も積極的に動き、3種類の美味しいカレーとサラダ、デザートを食べることが出来ました。

2日目は漁船に乗り、魚釣りをしました。暑さに負けずに沢山の魚を釣ることができ、昼食のバーベキューで美味しく頂くことができました。

中3生にとって最後の中横夏キャンプとなりましたが年長者らしい姿があり、充実した楽しいキャンプになったのかなと感じます。去年は小横で今年初めての中横夏キャンプでしたが、小横とは違った楽しさがあり、私自身も勉強になった夏キャンプとなりました。

(菊地 美月季)

高校生 社会体験



今回、自分は館山海上自衛隊に行ってきました。

そこで、学んだことは「時間に余裕を持って行動をする」ということです。今回の三日間では、常に五分前行動を意識させられました。

最初の方では、朝とかにも早く起きないといけない所があり、決められた服にも着替えないといけないことがあったので大変でしたが、今回の体験で五分前行動がしっかりと出来るようになったので、良い体験になったのではないかと思います。自衛隊では普段どのようなことをしているのかよく分かっていることもあったのですが、今回では、それを知ることが出来ました。決められた時間での生活をするのが苦手な人は、自衛隊での体験に行ってみてはいかがでしょうか。

(高3 S・N)

感想はこちらまで!

ホームページ <http://www.katsugaku.org>

メールアドレス

katsuyama@katsugaku.org

中学運動会

今年の運動会は、中学校生活最後の運動会でした。私が特に頑張ったことは、応援合戦です。私は三年間蒼組で応援合戦をしてきましたが、今年の応援が一番楽しくできました。精一杯声を出して取り組んだ応援練習の成果が出て蒼組が応援賞をとることができたのでとても嬉しかったです。

そして、運動会を通してとても悔しかったことは、選抜色別対抗リレーです。運動会当日は、午後から雨が少しずつ降ってきたので、グラウンドが滑りやすくなっていました。バトンがうまくわたりませんでした。でもチーム全員が全力を出して最後まで戦えたので本当に良かったです。

最後に、総合優勝は紅組で負けてしまっただけで、一生懸命取り組んだ中学校生活最後の運動会はもう一度やりたいくらい楽しかったです。本当に最高の思い出になりました。

(中3 O・Y)



わたしたちのまち

「トトロの世界」が初めて私がこの町に来た時の感想です。まっくろくろすけが出てきそうな場所で、自分がこれからここで生活していくという想像ができませんでした。1時間に1本しかない電車、街灯の少なさ、虫のでかさ、驚き、正直、田舎だなんて思いましたが、東京とは違って町の人は優しく、伸び伸びと過ごせる場所であるので私はこの地域に来てとてもうれしく思います。海が近くにあり山に囲まれている自然の豊かさはとても贅沢ですよね。右も左も分からない場所で始まった一人暮らしも4カ月が経ちましたが、今でもまだまだこの町で暮らしていく事にワクワクした気持ちです。この気持ちを忘れず、この町で一所懸命過ごしていきたいです。

(小川 愛里)

御礼

この度、台風15号の被害に際しまして多くの皆様からご声援、ご支援をいただきましたこと感謝いたします。ありがとうございました。

勝山学園は、ガラスの破損や倒木がありましたが、生活全般はできていました。停電が2日続き電話の復旧まで時間がかかり、関係者様にはご心配、ご迷惑をおかけいたしました。

在園生の誰も怪我がなかったのは不幸中の幸いでした。日頃の避難訓練が活かされていました。子供たちは学校が休校の間、被害後の片づけなど、職員の話をよく聞いて協力してくれました。今はみんな、元気に登校しています。学園のグラウンドも公園も整備され、再び外で元気いっばいの声が聞こえるようになりました。

卒園生も様子を見に来てくれ、町のボランティアに参加したり、町へも物資を届けてくれました。また、体育館の割れたガラスの養生をしてくれました。「俺のふるさとだよ。俺のことができることがあれば何でも言ってよ。」と言ってくれた言葉が心に響きました。

恒例の1月1日卒園生を囲む会・・・毎年多くの皆さんがご家族一緒に参加して下さいます。みなさんで思い出話ができるよう進んでいきます。

(支援グループリーダー 根形)



| |
|---|
| 平成31年度 |
| 編集・印刷・発行 千葉県安房郡鋸南町下佐久間 1469 社会福祉法人東京都社会福祉事業団 東京都勝山学園 Tel.0470-55-0541 |
| 発行年月日 令和1年10月15日 |

東京都勝山学園広報委員会
編集長 横川裕子 池田圭織
編集委員 西山宗 小林まさみ
野崎洋輔 池田可衣
天神サスケ

感想はこちらまで!

ホームページ <http://www.katsugaku.org>

メールアドレス

katsuyama@katsugaku.org